

四街道特別支援学校の実践について

I C Tを活用した授業実践のポイントは、I C Tを活用することで、児童生徒の理解や思考を促し、「主体的な学び」につなげたり、「分かる授業」に結び付けたりすることです。

本研究での成果は大きく2つあると考えます。一つ目は、I C Tを活用しながら、児童生徒自らが学ぶことへの興味や意欲を高めるとともに、他校との交流や校内の他学部との交流など、学校内でも共に学び合う喜びのある授業を工夫したことです。

二つ目は、I C Tを活用した授業の工夫を、「受け継いでいきたい教育資源」とし、職員同士で学び、共有したことではないかと思えます。

今後も、授業改善の視点で、I C Tを活用した授業の更なる充実を期待しております。また、この実践が、どの学校でも行うことができるように共有され、更に広めていただけること、他校でも是非取り入れてくださることをお願いしたいと思えます。

また、四街道特別支援学校におきましては、文部科学省の研究開発学校として、4年間、高等部におけるI C Tを活用した遠隔教育の在り方について研究を進めていただくとともに、校内全体での推進にも取り組んでいただきました。